

「墨田区公園マスタープラン（改定）素案」に対する ご意見等の概要と区の考え方について

「公園マスタープラン（改定）素案」の内容について、広くご意見を募集しましたところ、たくさんのご貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきました。今回いただいたご意見・ご提案の概要並びに、区の考え方を併せて公表するとともに、ご意見・ご提案をいただきました方々のご協力に厚く御礼申し上げます。

・・

1 パブリックコメントの実施概要

皆さまからのご意見の募集は、墨田区のパブリックコメント手続きに係る基準に則って、下記のとおり実施しました。

（1）公表資料

1）墨田区公園マスタープラン（改定）素案概要版

（2）意見募集期間

平成22年9月6日（月）から平成22年10月5日（火）まで

（3）意見募集の周知・公表方法

1）パブリックコメントの周知

- ・区のお知らせ（平成22年8月21日号）
- ・区ホームページ

2）公表資料の閲覧

- ・都市整備課窓口（庁舎9階）
- ・区民情報コーナー（庁舎1階）
- ・区ホームページ

（4）意見提出方法

文書を郵送、ファックス、電子メールまたは持参により提出

（5）意見提出先

都市整備部都市整備課

（6）意見募集の結果

パブリックコメント意見者数3名（意見数6件）

なお、提出された意見の概要（パブリック・コメント）一覧については、以下のとおりです。
なお、同一の内容については集約しております。

**「公園マスタープラン（改定）素案」に対する
ご意見等の概要と区の考え方について**

No.	区民の意見・提案主旨	意見・提案に対する区の考え方
1	<p>公園を地域コミュニティの場として活用することに賛成です。</p> <p>そのためには、老朽化した施設の更新といったハード面と公園運営方法といったソフト面の両方が大切だと思う。</p>	<p>ご意見にあるとおり、ハード面とソフト面の両方を充実させることは非常に重要であると考えています。このことから、改定の基本方針として、「公園を積極的に拡大する」「公園の質を向上する」「区民とともに公園を育てる」の3つを掲げ、この基本方針を基に、地域の方々と共に考え、利用しやすい公園づくりを目指していきたいと考えています。</p>
2	<p>墨田区の公園は灰皿の設置が少なく、公園内の吸殻や空き缶が目立ちます。自身が喫煙者であり、また、東京スカイツリーへの観光客が今後増えることを考慮して、公園で一休みできるよう灰皿が設置され、吸殻や空き缶の散乱していないきれいな公園が点在していると良いと思う。喫煙者と非喫煙者が共にくつろげるような公園づくりを推進して欲しい。</p>	<p>公共施設における喫煙については、健康増進の観点から、国において、受動喫煙を防止するための措置を講ずるように努めることとされています。</p> <p>このため、墨田区の公園では、喫煙は禁止していませんが、公園のどこでも喫煙できる状況は好ましくないと考えています。</p> <p>こういった観点から、今回の計画では、大規模公園については喫煙場所を限定することで分煙化を図り、吸殻や空き缶の散乱についても防止をしたいと考えています。また、小規模公園については、近隣の方々や利用者の意見を踏まえた対応をしていきたいと考えています。（概要版9ページ記載）</p>
3	<p>プランについては特に違和感などが無かった。具体的な内容については各々の活動の中できちんと進めていただけたと思う。</p>	<p>今後、各公園において実施計画等を策定する際には、本マスタープランの内容を反映させて進めていきたいと考えています。</p>

4	<p>東京都については、「緑の東京 10 年プロジェクト」など東京都内の緑の活動などを積極的に実施しているように思われます。</p> <p>その活動の中での、墨田区の位置づけ、方針（都との違いも含め）連携そういったものの説明が不足しているように思います。</p> <p>また都で実施した、区管理公園内での案内看板の設置など、区の担当管理者と都の担当者との連携が出来ていないように感じられます。そのあたりの改善方法なども、教えていただければと思います。</p>	<p>概要版には記載がありませんでしたが、素案本編においては、国や都等の関連計画について整理をし、各計画の趣旨について記載をしています。本マスタープランについては、それらの構想に準じた計画となるよう、関連計画を踏まえて策定しています。また区の上位計画である「墨田区基本計画」「墨田区都市計画マスタープラン」「緑の基本計画」の内容についても整合性を図っています。</p> <p>このため、計画全体の方向性については、国や都の目指している姿と大きな違いはありません。その中で、墨田区の地域特性や都市環境を踏まえ、墨田区独自の具体的な実現化方策を示したものが本マスタープランです。また連携についても、例えば水辺空間を公園にしていく場合、河川管理者である国や都の整備計画と調整を図りながら進める必要があることから、積極的に連携して進めていくべきだと考えています。</p> <p>また案内看板等の設置については、ご指摘のような状況とならないよう、区の「公共サインデザインマニュアル」等の内容を踏まえながら、今後進めていきたいと考えています。</p>
5	<p>他区はどのような計画をしていて、それと合わせていく、それとは別に墨田区としての特色を出していく等の方針が見えていません。</p> <p>隅田公園においては、桜橋で台東区と密接に絡んでいますし、区民や、観光客にとっては、一体化して見ていると思います。そこで、観光している際に各区との違和感があるようでは、観光する気持ちが一気に萎えると思いますので、景観コンセプトの一体化・連携が非常に重要だと考えます。</p> <p>今後、墨田区運営のローカルバスも検討されているようですし、他区との情報交換を含めた連携、差別化のポイントを教えていただければと思います。</p>	<p>公園マスタープランについての他区の状況ですが、策定当時も含め現在までのところ、公園に特化したマスタープランを定めている区は数区しかありません。墨田区では、公園は都市環境の向上や、地域コミュニティの向上等に重要な役割を果たすと考え、本マスタープランを策定しており、区独自の歴史や文化等の特色を活かした計画としています。</p> <p>また、景観や観光についてですが、区では「墨田区景観基本計画」「墨田区観光振興プラン」等により、景観や観光についての基本的考え方をまとめています。これらを踏まえて、公園についても進めていきたいと考えておりますが、ご意見のように、他区の状況についても把握をしながら、魅力ある公園づくりを進めていくことも重要であると考えています。</p>

6	<p>概要書の20ページには、運営について記載されていますが、具体的にどのようにしていくのかということについては、基本的には、個別の場所や、ボランティア団体によるのでしょうか？とすると、区全体での統一方針が見えてきません。</p> <p>どういった部分を、区として共通（都として共通化）し、どういった部分を、各地域・住民に任せていくという、基本方針を、教えていただけませんか</p>	<p>管理運営の基本方針については、これまで行政が主となっていた公園の管理運営について、今後は協治（ガバナンス）の観点から区民・事業者・利用者も含めて一体で進めようというものです。全ての公園において、施設や植栽の日常管理を地域や事業者に行ってもらうことが理想ではありますが、実際は困難であることから、その前提として、区では施設や植栽の統一的な管理水準を定め、管理主体が変化しても一定の質が保てるようにしていきます。</p> <p>また、現在も行われている公園愛護協定等のボランティア活動や地域イベントを積極的に区がサポートし、区全域に広がるよう進めていきます。また、管理をする上での経験の蓄積や人材育成についても支援を進めていきます。</p> <p>最終的には、全ての公園において、地域の住民や事業者が自主的・積極的に管理運営を行えることを目指して進めていきたいと考えています。</p>
---	---	---